







導入時設定ガイド  
rev.4





# 目次

eXact装置の初期設定	4
カラー設定 確認と変更	5
キャリブレーション・測定の確認	8
eXact Managerのインストール	11
製品登録	12
eXact ManagerをインストールしたPCからの登録	14
eXact ManagerをインストールしたPC以外からの登録	15
Pantoneライブラリの確認と使用	17
Japan Colorジョブテンプレートの使用	18
Data Catcherのインストール	19
Data Catcherの使い方	20

    のマークの付く項目・機能は、そのモデルで対応する項目・機能を意味します。

ベーシック    ベーシックプラス    スタンダード    アドバンス

## eXact装置の初期設定 **B B+ S A**

初めてeXactに電源を投入した際、初期設定のための一連の選択画面が表示されます。設定する内容は、言語設定、時間設定、もち手(方向)設定、地域設定になります。これらの設定は初期設定終了後に変更することが可能です。

### ① 言語設定

eXact本体に表示する言語を選択します。



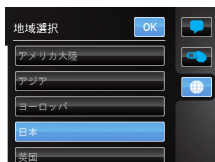
### ② もち手(方向)

eXactを使用する利き手を選択します。左利きの場合は左手を選択することで表示が上下かきまに表示されます。



### ③ 地域選択

地域を選択すると濃度や色彩値で使用する設定セットが選択されます。各地域の設定セットは「地域設定の詳細」でご確認ください。



### ④ 時間設定

現在の時間をセットします。



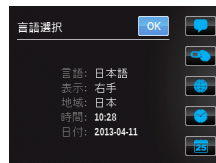
### ⑤ 日付設定

今日の日付をセットします。



### ⑥ 設定の確認

設定内容を確認します。変更が必要な場合、画面右に並んだアイコンをタップして変更する設定画面を表示し変更できます。



[OK]をタップすると初期設定が完了しメイン画面が表示されます。

## 地域設定の詳細：地域設定の選択で設定される各設定内容

	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	英国
濃度測定 <b>B B+ S A</b>					
ステータス	E	T	E	T	T
白色ベース	用紙	絶対	用紙	絶対	絶対
Mファクター	M3	M0	M3	M0	M0
ドットゲイン%	25%/50%/75%	25%/50%/75%	40%/80%	25%/50%/75%	40%/80%
刷り順 <b>B S A</b>	KCMY	KCMY	KCMY	KCMY	KCMY
色彩測定 <b>S A</b>					
イルミネント	D50	D50	D50	D50	D50
観測視野角	2°	2°	2°	2°	2°
Mファクター	M0	M0	M0	M0	M0
色差式	ΔE76 (ΔE*ab)	ΔE76 (ΔE*ab)	ΔE76 (ΔE*ab)	ΔE76 (ΔE*ab)	ΔE76 (ΔE*ab)
標準 ジョブ	Japan Color	G7	PSO	G7/PSO	PSO

## カラー設定 確認と変更 **B B+ S A** (設定項目はeXactのモデルにより異なります。)

新規のアイコンを作成した際のデフォルトとなるカラー設定を規定します。

<注意> ここでの設定は新しく作成されたアイコンにのみ適用されます。 **現在存在するアイコンの設定は変更されません。**

①

デフォルトのカラー設定を確認・変更するにはメイン画面から[歯車]タブを選択し、[個人設定]アイコンをタップします。



②

個人の初期設定画面で[カラー設定]をタップします。



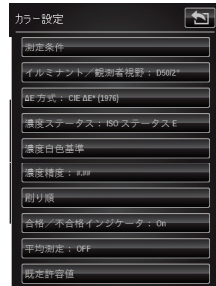
③

カラー設定で確認・変更可能な項目は

- ✓ 測定条件
- ✓ イルミナント／観測者視野
- ✓ ΔE方式
- ✓ 濃度ステータス
- ✓ 濃度白色基準
- ✓ 濃度精度
- ✓ 刷り順
- ✓ 合格／不合格インジケータ
- ✓ 平均測定
- ✓ 既定許容値

の各項目になります。

それぞれの項目を選択し、各項目の内容を表示・確認し、必要であれば変更します。



④ 測定条件 **B B+ S A**

測定に使用する照明の設定をM0 (No) / M1 (D50) / M2 (UVC) / M3 (Pol) から選択します。

照明の条件は色彩関連値、濃度関連値を個別に設定できます。

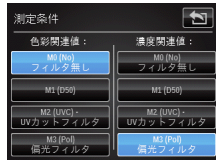
地域設定で日本を選択した場合の既定：

色彩関連値=M0 濃度関連値=M3

変更が必要な場合、設定するモードをタップしてハイライト表示します。

<注意> M1を選択する場合、ハードウェアのレバーをM1に変更すると共に色彩関連値/

濃度関連値を共にM1に設定する必要があります。



⑤ イルミナント／観測者視野 **S A**

イルミナントは色彩値計算に使用する光源条件としてD50/D65/A/F2などを選択します。

観測者視野は色彩値計算に使用する視覚の応答特性として2°/10°のいずれかを選択します。

地域設定で日本を選択した場合の既定：

イルミナント／観測者視野=D50/2

変更が必要な場合、イルミナントは数値ダイヤルを回転させて選択します。

また、観測者視野は下のボタンをタッチして2°/10°をトグルで切り替えて変更します。

<ポイント> グラフィック目的で使用する場合、通常D50/2に設定します。産業系やスク

リーン印刷ではD65/10を使用します。



## ⑥ ΔE方式 **S A**

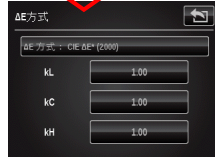
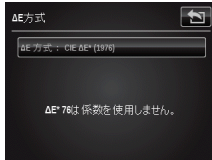
色差の計算方法を選択します。

地域設定で日本を選択した場合の既定：

ΔE方式 = CIE ΔE\* (1976)

変更が必要な場合、表示されているΔE方式のボタンをタップして全てのΔE方式オプションを表示、設定したいΔE方式をタップします。

<ポイント>従来はΔE1976が主流でしたが、現在ではΔE2000に移行するユーザーが増えています。



L:C:H係数の設定：

ΔE2000を選択した場合、L:C:Hの比を指定する必要があります。この比率は標準の観察環境と異なる環境での視感評価との相関を取るための係数で、特別な知見が無い場合にはグラフィック用途にはデフォルトの1:1:1を指定してください。

## ⑦ 濃度ステータス **B B+ S A**

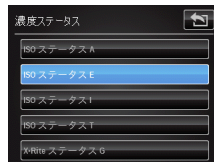
濃度算出の応答特性として濃度ステータスを選択します。

地域設定で日本を選択した場合の既定：

濃度ステータス = ISOステータスE

変更が必要な場合、設定するステータスをタップしてハイライト表示します。

<ポイント>印刷目的では主にステータスEもしくはステータスTが使用されます。EとTの選択は現在どちらのステータスを使用しているかで決定してください。違いはイエローの濃度のみが異なります。通常、現在使用しているイエロー濃度が1.0前後であればTに、1.3前後であればEに設定します。



## ⑧ 濃度白色基準 **B B+ S A**

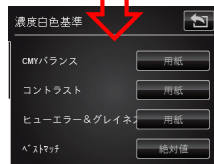
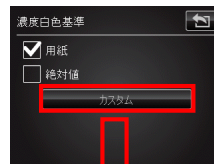
濃度値算出時に白紙の濃度を引くか(用紙)、引かないか(絶対値)を選択します。

地域設定で日本を選択した場合の既定：

濃度白色基準 = 用紙

変更が必要な場合、チェックボックスにチェックを入れて選択します。

<カスタム>測定値で個別に濃度白色基準を設定する場合、カスタムをクリックし、個別の測定値に対して用紙/絶対値を指定します。  
ドットゲイン、アミ点面積率、トラッピングの測定には常に用紙が使用されます。ベストマッチでは濃度白色基準として絶対値を指定しても、基本計算に使用するために用紙測定が求められます。



## ⑨ 濃度精度 **B B+ S A**

濃度表示の際に小数点以下2桁まで表示するか、3桁まで表示するかを選択します。

地域設定で日本を選択した場合の既定：

濃度精度 = #.## (小数点以下2桁表示)

変更が必要な場合、表示したい桁数のボタンをタップしてハイライト表示します。

<注意>測定自体の精度には影響しません。いずれを選択してもDataCatcherでは小数点以下4桁のデータを取得できます。



## ⑨ 刷り順 **B S A**

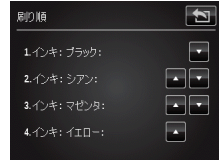
トラッピング値算出に使用するため、印刷の刷り順を指定します。(トラッピングはオフセット枚葉のWET on WET印刷における2次色の品質を表します。)

地域設定で日本を選択した場合の既定:

刷り順=KCMY

変更が必要な場合、上下の矢印をタップしてKCMYインキの順番を入れ替えてください。

<注意> 刷り順の指定は枚葉オフセット印刷のトラッピング値に影響します。



## ⑩ 合格／不合格インジケータ **S A**

比較測定などで許容値が設定されている場合、合格／不合格を表示するかどうかを選択します。地域設定で日本を選択した場合の既定:

合格／不合格インジケータ=ON

変更が必要な場合、ONかOFFをタップしてハイライト表示してください。



## ⑪ 平均測定 **S A**

平均測定の回数を指定します。ここで指定した測定回数分を測定し、その平均値を表示します。平均測定は途中で中止することも可能です。その場合、それまで測定した分の平均値を表示します。

地域設定で日本を選択した場合の既定:

平均測定=OFF

変更が必要な場合、平均測定する回数のボタンをタップしてハイライト表示します。

<注意> 平均測定は濃度機能やシングルL\*a\*b\*などの矢印アイコンの基本ツールでは使用できません。



## ⑫ 既定許容値 **B S A**

新しくジョブテンプレートを作成する際のデフォルトの許容値を設定します。

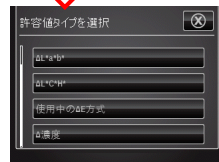
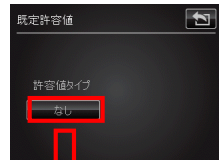
地域設定で日本を選択した場合の既定:

許容値タイプ=なし

変更が必要な場合、[なし]をタップして他の選択肢を表示、使用する許容値タイプを選択します。

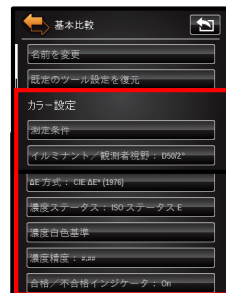
<注意>ここで設定する許容値タイプはデフォルトの設定のため、個々のジョブテンプレート作成の際に変更することが可能です。

[使用中のΔE]を選択すると、ジョブアイコンにセットされている色差(ΔE1976やΔE2000など)が適用されます。



## 各アイコンに対するカラー設定(重要)

設定モードの個人設定アイコンにある既定のカラー設定は新たにツールアイコンを追加する場合に適用される設定です。すでに配置されている個々のツールアイコン(濃度機能など)には適用されません。個々のツールアイコンのカラー設定を変更するには測定画面下に表示される▲をタップして[設定]ボタンをタップ、表示されるカラー設定の各項目を④~⑫を参照して変更してください。



## キャリブレーション・測定の確認

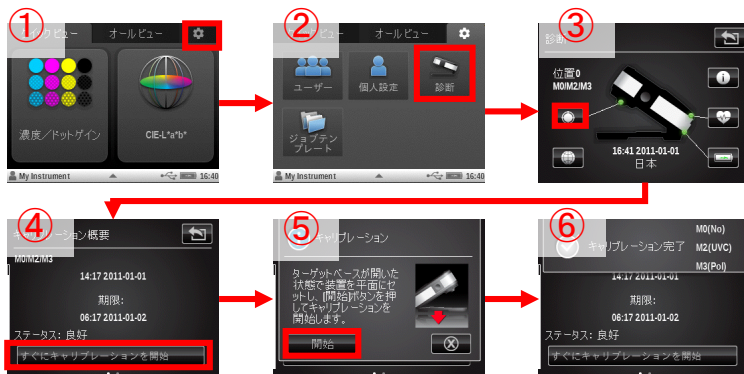
各設定が完了したらキャリブレーション・測定が正しくおこなわれるかどうかをチェックします。

### ①キャリブレーションの確認 **B L S A**

キャリブレーションは必要の際にシステムが自動的に要求してきます。しかし、マニュアルで起動することも可能です。ここではマニュアルでキャリブレーションを起動し、機器が正しく動作するかを確認します。

以下のステップでキャリブレーションを実施してください。

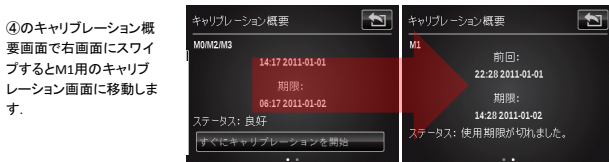
<注意>キャリブレーションを実施する際はターゲットベースを開いた状態で実施してください。



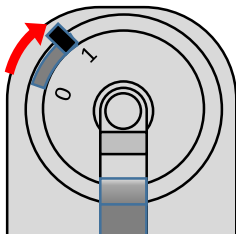
### M0,2,3 → M1の切り替え

装置は出荷時M0,M2,M3の同時測定モードになっています。M1測定が必要な場合は、M1のキャリブレーションを確認しておきます。

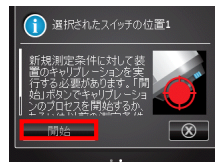
#### M1測定のキャリブレーション ステータスの確認



装置のM切り替えダイヤルを0 → 1に切り替えます。



M1用のキャリブレーション開始画面が表示されたら、開始ボタンをタップしてキャリブレーションを実施します。





## ② 濃度測定・設定の確認 B S A

[オールビュー]→[濃度機能]をタップして濃度測定画面に進みます。

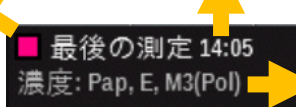
### ☆ 濃度設定確認



画面左上の濃度測定の測定条件設定を確認します。

シミュレーション色  
[注]正確な色表示ではありません。

測定時刻



濃度関連値測定条件:

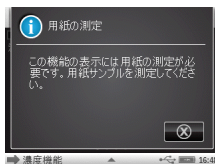
- 濃度白色基準: Pap (用紙)/ 表示なし (絶対値)
- 濃度ステータス: E/T/I/A/G
- 測定照明: M0(No)/M1(D50)/M2(UVC)/M3(Pol)

設定を変更する必要がある場合は、画面下の▲をタップして、設定画面に進み、[設定]をタップします。前述の「カラー設定 変更と確認」を参照して各設定を返納してください。



### ☆ 濃度測定確認

- ① 濃度白色基準がPap (用紙)に設定されている場合、はじめに用紙の測定が求められます。



- ② プロセス(CMYK)ベタ濃度を測定します。CMYKの測定の順番は、どの色からでも問題ありません。



- ③ プロセス(CMYK)それぞれのベタ濃度の最後の測定値が下に表示されます。



### ③ L\*a\*b\* 測定・設定の確認 S A

[オールビュー]→[シングルL\*a\*b\*]をタップしてL\*a\*b\*測定画面に進みます。

#### ☆ 色彩値(L\*a\*b\*)設定確認

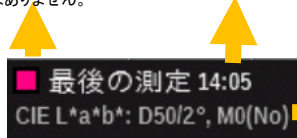


画面左上の色彩値測定の測定条件設定を確認します。

シミュレーション色

[注]正確な色表示ではありません。

測定時刻



色彩関連連値測定条件:

- ・ イルミネント/観測者視野角: D50/2, D65/10 など
- ・ 測定照明: M0(No)/M1(D50)/M2(UVC)/M3(Pol)

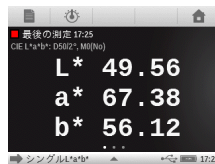
設定を変更する必要がある場合は、画面下の▲をタップして、設定画面に進み、[設定]をタップします。前述の「カラー設定 変更と確認」を参照して各設定を返納してください。



**注意:** 設定の確認・変更は各アイコンに対して個別に実施する必要があります。必要に応じて、濃度機能やシングルL\*a\*b\*で実施した設定のチェックと変更を他のアイコンに対しても実施してください。

#### ☆ 色彩値(L\*a\*b\*)測定確認

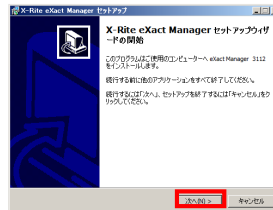
カラーサンプルを測定します。L\*a\*b\*が表示されます。



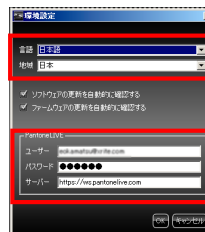
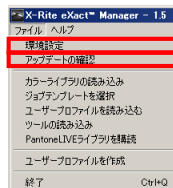
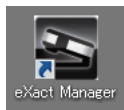
## eXact Managerのインストール

eXact Managerはユーザープロファイルの設定や装置の設定をはじめとして、ライブラリの作成、ジョブテンプレートの作成などをサポートするユーティリティツールです。eXact Managerのインストールは付属のDVDから実施できます。

1. パッケージに付属のDVDをPCに挿入します。
2. メニュー画面が自動で表示されます。
3. ソフトウェアのインストールからeXact Managerをクリックします。
4. インストーラーが起動して言語選択画面が表示されます。
5. 「日本語」を選択してOKをクリックします。
6. インストールのセットアップ画面が表示されたら「次へ」をクリック、指示に従ってインストールを進めてください。



7. インストールが終了したらeXact ManagerのアイコンをクリックしてeXact Managerを起動します。
8. ファイルメニューから「アップデートの確認」を選択します。PCがネットワークに接続されていると最新のバージョンがチェックされます。必要に応じて最新版をインストールしてください。
9. ファイルメニューから「環境設定」を選択します。
10. 環境設定画面の「言語」で「日本語」を選択します。
11. 「地域」で「日本」を選択します。
12. PantoneLIVEを使用する場合、IDおよびパスワード、サーバーアドレス (https://ws.pantonelive.com) を入力します。



注意: eXact ManagerにeXactを接続して使用するにはeXact本体の製品登録が必要になります。製品登録の方法は本ガイドの製品登録の項目を参照してください。一度、製品登録されたeXactはどのPC上のeXact Managerからでも利用可能です。

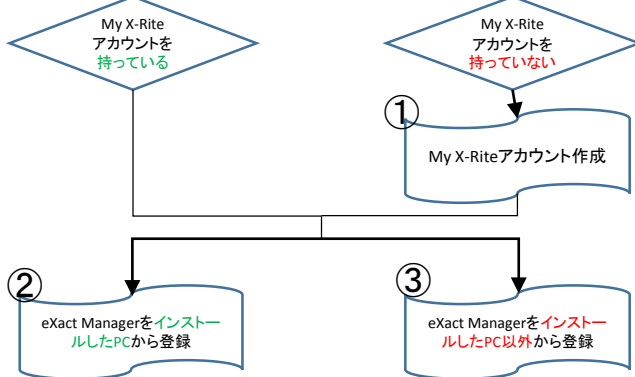
## 製品登録 **B** **B+** **S** **A**

製品の購入時にeExactの製品登録をお願いします。製品登録を実施することでeExact Managerを利用することができるようになります。eExact Managerはライブラリの使用やJapanColorジョブをはじめさまざまな便利な機能を提供するユーティリティです。（製品登録が完了するまで接続したeExactでeExact Managerをご利用いただけません）

### 製品登録手順の流れ

製品の登録には外部インターネットにアクセスできる環境が必要です。

My X-Riteアカウントを持っているか、持っていないか。eExact ManagerをインストールしているPCから登録するか、それ以外のPCから登録するかで登録の手順が異なります。以下のフローを参照して登録作業を進めてください。



### ① My X-Riteアカウントの作成

1. インターネットブラウザのURLで[www.xrite.com](http://www.xrite.com)にアクセス
2. 表示ページの上部ペインの[個人専用ページ]をクリック



3. [My X-Rite登録]をクリック



すでに登録されている場合は、ログインしてください：

ユーザー名 / メールアドレス：       パスワード：

4. Eメールアドレスを入力

「My X-Rite」（個人専用ページ）のアカウントを作成

開始する前にメールアドレスを入力してください。

▶ Eメールアドレス  
  
[ 実行 ] [ キャンセル ]

5. ユーザープロフィールとして以下の項目を入力します

敬称

姓／名 \*

Eメールアドレス \*

電話番号 \*

会社名 \*

住所1 \*

住所2

国名 \*

市町村 \*

郵便番号 \*

FAX番号

業種 \*

役職 \*

\* マークは記入必須項目になります。

敬称  ▶ あなたの差種は何ですか？  
[ 選択してください。 ]

▶ 姓  ▶ 名  ▶ 皆様の役割を教えてください。  
[ 選択してください。 ]

▶ Eメールアドレス  レベルを教えてください。  
[ 選択してください。 ]

▶ 電話番号 (国コード - 市外局番-XXXX)  カラーコントロール/マネージメントに対するあなたの担当範囲を教えてください。  
[ 選択してください。 ]

▶ 会社名  所属部門の社員数を教えてください。  
[ 選択してください。 ]

▶ 住所1  色に関する知識：  
[ 選択してください。 ]

住所2  御社の色管理に対するご興味レベルを教えてください。  
[ 選択してください。 ]

▶ 国名  国を選択 [ 選択してください。 ]

▶ 市町村  市町村を選択 [ 選択してください。 ]

▶ 郵便番号  性別 [ 選択してください。 ]

FAX番号 (国コード - 市外局番-XXXX)

6. ユーザー名、パスワードを入力

7. [登録]をクリックします。

Xrite.com Account Login

▶ ユーザー名

▶ パスワード ▶ パスワードの確認

[ 登録 ] [ キャンセル ]

- 登録したメールアドレスにX-Rite Customer Service から登録確認「My X-Rite Registration Verification」のメールが届きます。
- 「下記のリンクをクリックし、マイエクストライトのアカウントを確認してください。」の下にあるリンクをクリックして登録確認します。
- My X-Riteアカウントの登録が完了します。これで製品登録の準備が整いました。



## ② eExact ManagerをインストールしたPCからの登録

1. PCがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. eExactとPCをUSBケーブルで接続します。
3. インストールしたeExact Managerを起動します。
4. 未登録のeExactが接続されている場合、登録画面が表示されます。
5. 画面右下の[登録]ボタンをクリックします。



6. 製品登録ログイン画面が表示されます。
7. My X-Riteアカウントのメールアドレスを入力します。
8. My X-Riteアカウントパスワードを入力します。
9. [ログイン]ボタンをクリックします。
10. シリアル番号およびRegistration Code(登録コード)は自動で入力されています。
11. 購入日を半角でYYYY/MM/DDのフォーマット(たとえば2017/09/22)で入力します。
12. [続行]ボタンをクリックします。



### 製品登録

エックスライト製品の登録はこちらです。

製品名 X-Rite eExact™ (イグザクト)

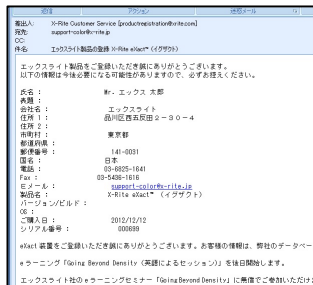
購入日 (YYYY/MM/DD)

シリアル番号

Registration Code

[続行]

13. アクティベーションコードが表示されます。
14. eExact Managerが使用できるようになります。  
(eExact Manager下部の装置領域が表示されれば登録が完了し、eExact Managerが使用できるようになったことを表します。登録されたeExact装置はどのPC/Mac上のeExact Managerでもご使用いただけます。)
15. My X-RiteアカウントのEメールアドレスに登録のお知らせメールが発信されます。



登録のお知らせメール

### ③ eExact ManagerをインストールしたPC以外からの登録

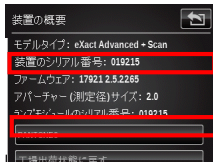
1. PCがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. eExactとPCをUSBケーブルで接続します。
3. インストールしたeExact Managerを起動します。
4. 未登録のeExactが接続されている場合、登録画面が表示されます。
5. 画面右下の[登録]ボタンをクリックします。



6. 製品登録ログイン画面が表示されます。
7. My X-RiteアカウントのEメールアドレスを入力します。
8. My X-Riteアカウントパスワードを入力します。
9. [ログイン]ボタンをクリックします。



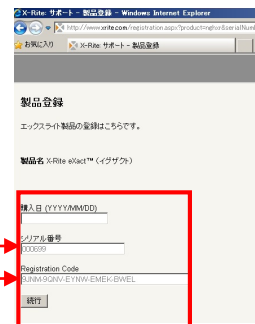
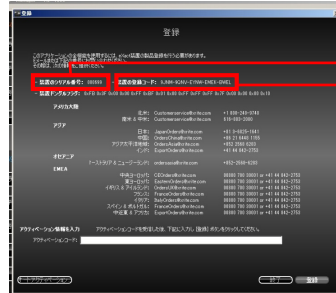
10. シリアル番号およびRegistration Code(登録コード)eExact本体もしくはeExact Managerで確認することができます。



装置でシリアル番号と登録コードを確認する場合:

- [設定] > [診断] > [情報]
- で確認することが可能です。

<注意>登録が完了している装置では登録コードは表示されません。(上図では表示されていませんが未登録のeExactではマニュアルシリアル番号の下に表示されます)



eExact Managerでシリアル番号と登録コードを確認する場合:  
未登録のeExactをPCにUSB接続した状態でeExactを起動すると登録画面が表示されます。  
登録画面左下の「マニュアルアクティベーション」ボタンをクリックすることで接続されている未登録eExactのシリアル番号および登録コードが表示されます。

11. アクティベーションコードが表示されたら、コードをメモします。

<注意>アクティベーションコードはメールでも通知されます。



登録のお知らせメール

12. 他のPCで入手したアクティベーションコードを未登録のeXactが接続されたeXact Managerに入力します。  
アクティベーションの入力欄が表示されない場合は、登録画面左下の「マニュアルアクティベーション」ボタンをクリックすることで表示されます。

<注意>一度登録処理の実施されたeXactほどのPC上のeXact Managerでもご利用いただけます。





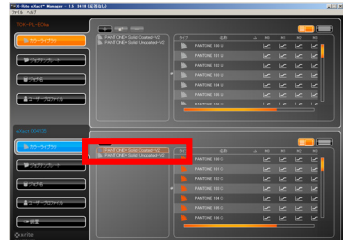
## Pantoneライブラリの確認と使用 S A

eXactスタンダードもしくはアドバンスには2種類のPantoneライブラリがプリインストールされています (PANTONE + Solid Coated および PANTONE + Solid Uncoated)。これらのライブラリはeXact単体 (eXact Managerを切り離れた状態)で検索アイコンや基本比較アイコンからご利用いただけます。

### ライブラリの確認

eXactManagerから2つのPantone ライブラリ (PANTONE + Solid Coated および PANTONE + Solid Uncoated) インストールされていることを確認します。これらのライブラリは[基本比較]や[検索]から利用します。

1. eXact ManagerのeXact装置領域で2つのライブラリが表示されていることを確認します。



eXact 機器での確認方法 ([検索]での例)



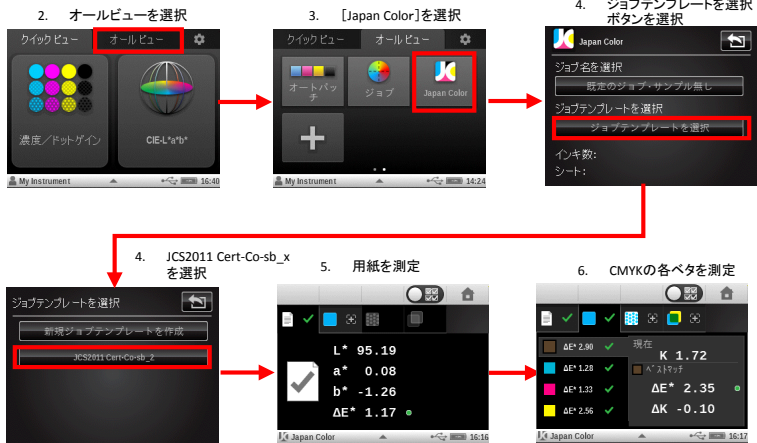
測定した色に最も近いカラーがライブラリから選択され基準色にセットされます。

# Japan Color 認証用ジョブテンプレートの使用 S A

eXactパッケージにはJapan Color用のジョブテンプレートがプリインストールされています。以下にJapan Color標準印刷認証用のジョブテンプレートの使用方法を説明します。

eXactManagerを使用してJapan Colorのジョブテンプレートを確認します。

1. eXact ManagerのeXact装置領域ジョブテンプレートにJapan Colorのジョブテンプレートが表示されていることを確認します。(おもにJCS2011 Cert-Co-sb\_xを使用します。)



測定時に合否判定が表示されます。また、ベストマッチで濃度の補正ガイドも表示されます。



## 合否インジケータの説明

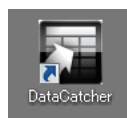
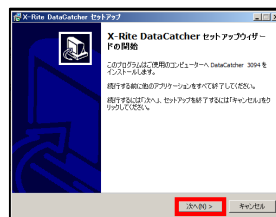
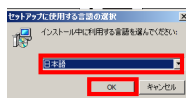
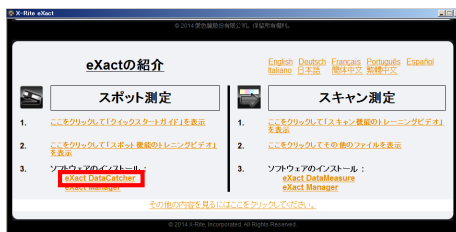
ジョブ作業では右上の合否インジケータで測定色の合否を判定することができます。

- ✔ **許容値パス** サンプルが許容値内にあることを表します。
- ✔ **許容値のアクション警告** サンプルが合格したことを表しますが、アクションリミット内にあります。
- ✘ **許容値外の警告** サンプルが許容値外であることを表します。

## Data Catcherのインストール **B I S A**

Data Catcherは測定データをエクセルシートなどに簡単に取り込むためのユーティリティソフトウェアです。Data Catcherは製品に付属のDVDからインストールすることができます。

1. パッケージに付属のDVDをPCに挿入します。
2. メニュー画面が自動で表示されます。
3. ソフトウェアのインストールからeXact Data Catcherをクリックします。
4. インストーラーが起動して言語選択画面が表示されます。
5. 「日本語」を選択してOKをクリックします。
6. インストールのセットアップ画面が表示されたら「次へ」をクリック。指示に従ってインストールを進めてください。

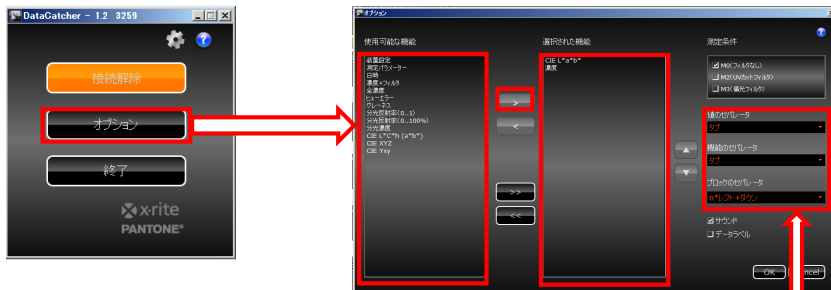


7. インストールが終了したらData CatcherのアイコンをクリックしてData Catcherを起動します。
8. メイン画面右上の歯車アイコンをクリックして設定画面を開きます。
9. [アップデートの確認]ボタンをクリックして最新のバージョンをチェックします。(インターネットへの接続が必要です)
10. 設定画面の[言語]から「日本語」を選択します。
11. [装置/接続]からUSBもしくはBluetooth (Bluetoothが設定されている場合)を選択します。
12. OKをクリックします。
13. メイン画面の[接続]ボタンをクリックしてeXact装置を接続します。(ボタンの表示がすでに「接続解除」になっている場合、すでに機器が接続されていることを意味します)

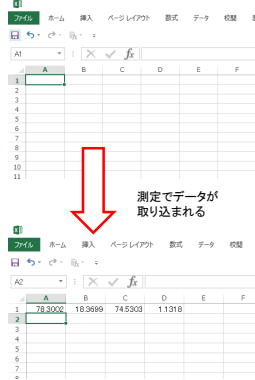


# Data Catcherの使い方 **B** **L** **S** **A**

Data Catcherを使用して取り込みたいデータの種類や取り込みフォーマットを指定します。



1. Data Catcherのメイン画面から[オプション]ボタンをクリックします。
2. オプション画面が表示されたら左の[使用可能な機能]リストから取り込みたいデータのタイプを選択します。(複数選択可)  
<注意>選択可能な項目はeXactのモデルにより異なります。
3. 中央の「>」ボタンをクリックして選択した項目を右の[選択した機能]リストに移動します。
4. 測定条件から取り込みが必要なMモードを指定します。
5. フォーマット指定として、[値のセパレータ]、[機能のセパレータ]、[ブロックのセパレータ]を指定します。
6. エクセルなどのアプリケーションを起動し、シートなどのファイルを開きます。
7. 取り込みの先頭セルを選択します。
8. eXact本体で「シングル」\*a\*b\*」などの測定モードに入り、測定を実施します。



**セパレータのタイプ**

値のセパレータ:  
L\*||a\*||b\*

機能のセパレータ:  
L\*a\*b\*||濃度値

ブロックセパレータ:  
L\*a\*b\*,濃度値||  
L\*a\*b\*,濃度値||

||に挿入されるセパレータを選択できます。

注意: 濃度ステータスや色彩値のイルミネント/観測者などの設定は測定時のeXactの条件に従います。

用紙測定が必要な測定モードの場合、用紙測定が完了していないとデータが入らない場合があります。その場合は用紙を測定してください。



左上の「?」マークをクリックすることでインストラクションが表示されます。タブなどセパレータ設定もこのインストラクションで確認することができます。

# *Memo*

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



**PANTONE®**

エックスライト社

〒135-0064

東京都江東区青海2-5-10

テレコムセンタービル 西棟6F

Tel:03-5579-6545 Fax:03-5579-6547

<http://www.xrite.com>